

アニマルセラピーの現場における反応

高松雅行（NPO 法人神奈川県アニマルセラピー協会）

団体紹介

NPO法人神奈川県アニマルセラピー協会は、平成19年1月に神奈川県認可を受け大和市に設立されました。神奈川県内を中心に、東京都・静岡県内の高齢者施設・障害者施設・小学校等へ犬を連れて訪問する活動を行なっております。

当初は神奈川県内での活動を中心としていましたが、当協会の活動への賛同者が全国から集まり、静岡県・奈良県・岐阜県にも新しく活動拠点ができました。平成21年1月14日付で内閣府認証NPO法人になりました。各県に1万人のセラピストと1万頭のセラピー犬の和を作り、一人でも多くの方に犬と触れ合うことによる心の癒しをお届けするために、協会スタッフ一丸となって試行錯誤の上、日々努力しております。

当協会は多くの方々のご支援・ご協力によって、今年設立3年目を迎えました。訪問先は100ヶ所を超え、セラピー活動に参加してくださるボランティア会員の数は現在400名を超えました。できるだけ多くの方々にアニマルセラピー活動についてご理解いただき、積極的に活動に参加していただき、アニマルセラピーを全国に広めてまいりたいと心より願っております。

活動内容

NPO法人神奈川県アニマルセラピー協会は、動物介在活動（アニマル・アシステッド・アクティビティ）を中心とし、各種高齢者施設・障害者施設・学校等を訪問しています。当協会認定のアニマルセラピストが中心となって、ボランティアの方々への指導・とりまとめをしながら、セラピー犬を連れて各施設を訪問しています。訪問は1回約60分です。参加者全員が犬とゆっくり触れ合えるよう、アニマルセラピストが連れて行く犬の頭数をその都度調整しながら、セラピーを実施しています。

これまではこのような訪問活動を中心に活動してまいりましたが、今年からはアニマルセラピーの効果を観察・記録しながら、今後の活動に生かしていくための研究を始めることになりました。具体的には、高齢者施設へ毎回同じアニマルセラピストとセラピー犬が週1～2回施設を訪問し、毎回同じ高齢者と犬とが1対1で触れ合い、その症状の変化を継続的に記録し、アニマルセラピーによりどのような癒しの効果が現れるかを記録していくというものです。

また、1人でも多くの教育関係者の方にアニマルセラピーについて知っていただき、積極的に教育現場の中に取り入れていただけるよう、教職員の方々を対象にした講演も行なっております。小学校の教師である当協会の教育部顧問の協力により、大和市の小学校の教職員を対象とした「アニマルセラピー」をテーマにした講演や、中野区立小学

校では犬との触れ合いを通して子供たちが命の大切さ感じてもらうことをテーマにした道徳の授業に参加するなどの活動を行なっております。

アニマルセラピーの主な効果には次のようなものが挙げられます。いつも表情の乏しい方に笑顔がみられる、動かない手足を動かそうとする、寝たきりの方が起き上がろうとする、いつもはあまり会話をしない方が犬を飼っていた頃の昔話を楽しそうにする、犬と触れ合い涙を流して喜ぶ、障害者施設などでは興奮しやすい状態の方が犬との触れ合いにより心が落ち着くなどが見られます。

また、最近では様々なストレスをかかえ、心身のバランスを崩している方が非常に多くなっていますが、そうした方々が心の癒しを求めて当協会に集まってきています。そうした中、アニマルセラピストや訓練士を目指し、毎日犬の世話をしながら次第にご自身の症状が改善していくことが多々あります。このように受講生自身が犬により癒され、健康を取り戻し、そして今度は人に癒しを届ける役割を担うことができるようになります。

アニマルセラピーによる訪問は、期間をあけずに継続的に行うことが効果的です。施設の都合上、同じ施設への訪問は多くても月1回にとどまっています。こうした現状をふまえ、セラピーの内容を更に向上させ、講演等を通してアニマルセラピーについて啓蒙し、多くの方々の理解を得られるようにしていきたいと考えております。